

2026年2月3日

各位

会社名 SBIアルヒ株式会社
 代表者名 代表取締役社長CEO兼COO 伊久間 努
 (コード番号: 7198、東証プライム)
 問合せ先 執行役員財務経理本部長 伊藤 恵司
 TEL: 03-6910-0020

2026年3月期 第3四半期決算速報〔IFRS〕(連結)のお知らせ

当社は、当社株主をはじめ投資家の皆様に対して適時・適切な情報開示を積極的に行うため、当社グループの決算手続完了前ではございますが、当社グループの2026年3月期第3四半期(2025年4月1日~2025年12月31日)の決算速報〔IFRS〕(連結)を以下のとおりお知らせいたします。

なお、当社の2026年3月期第3四半期の決算発表は2026年2月12日を予定しております。

1. 2026年3月期第3四半期の連結決算速報

(百万円未満切捨て)

	2025年3月期第3四半期(実績) (2024年4月1日~2024年12月31日)	2026年3月期第3四半期(速報) (2025年4月1日~2025年12月31日)
営業収益	16,507百万円	18,985百万円
税引前利益	2,308百万円	2,499百万円
親会社の所有者に帰属する 四半期利益	1,565百万円	1,714百万円
基本的1株当たり四半期利益	35円34銭	38円61銭

2. 経営成績等の概況

当第3四半期連結累計期間の営業収益は、18,985百万円(前年同期比15.0%増)となりました。当社の主力商品である「フラット35」の融資実行件数は、当第3四半期連結累計期間における各金融機関の変動金利商品との金利差縮小を背景に、前年同期の実績を上回って推移したものの、変動金利商品の融資実行件数が伸び悩んだことで、オリジネーション関連収益は前年同期比2.5%減少しました。リカーリング収益は、前年度の複数社からのサービシング事業の譲り受け等によるサービシング・フィー売上が増加したことに加え、保険及び家賃保証による売上も堅調に推移したことにより、前年同期比18.7%増加しました。アセット・その他収益は、グループ会社のSBIエステートファイナンスの不動産担保ローンなどの受取利息の増加及びSBIスマイルの物件売却収益の増加により、前年同期比45.3%増加しました。

営業費用は、調達金利の上昇などによる金融費用の増加、SBIスマイルの物件売却などの増収に伴う関連費用の増加に加え、株式会社優良住宅ローンの完全子会社化、M&A関連費用の計上などにより、16,510百万円(同16.5%増)となりました。これらの結果、税引前利益については2,499百万円(同8.3%増)、当第3四半期連結累計期間利益は1,697百万円(同8.8%増)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は1,714百万円(同9.5%増)となりました。

(注) 上記の2026年3月期第3四半期の決算速報に記載されている情報は、本資料の発表日現在において入手可能な情報を元に作成した速報値であり、確定値ではありません。2026年2月12日に発表を予定しております2026年3月期第3四半期の決算数値は、様々な要因により本速報値と異なる可能性があります。

以上